



Restio

ISX-18

インテグレートッドオーディオシステム



musicCast

取扱説明書

ご使用前に「クイックマニュアル」に記載の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

目次

はじめに3

付属品3

本書について3

MusicCast で簡単ホーム オーディオネットワーク4

アプリを使って簡単操作4

本機でできること5

各部の名称6

上面6

背面 / 底面6

前面ディスプレイ7

準備する8

設置する8

FM アンテナを接続する9

AC アダプターを接続する10

電源を入れる11

ネットワークを設定する12

「MusicCast CONTROLLER」を使ってネット
ワークに接続する12

機器の設定から再生まで13

iOS デバイスの設定を共有してネットワークに
接続する14

ネットワークコンテンツを 楽しむ15

パソコンの曲を聴く15

インターネットラジオを聴く17

radiko.jp を聴く17

ネットワークコンテンツを登録する18

AirPlay で音楽を聴く19

iPhone で曲を再生する19

iTunes で曲を再生する19

Bluetooth 接続で音楽を聴く20

本機と **Bluetooth** 機器のペアリング20

ペアリング済みの機器を **Bluetooth** 接続して音楽を
再生する21

ワイヤレスヘッドホンで音楽を聴く22

FM ラジオを聴く23

放送局を選ぶ23

放送局を登録する23

アラーム機能を使う24

3つのアラームタイプ24

音楽ソース24

スヌーズ24

アラームの時刻を設定する25

アラーム機能をオン / オフする25

アラームを一時的に停止する（スヌーズ）26

アラームを停止する26

スリープタイマーを使う27

ファームウェアを更新する28

モバイル端末から行う28

本体から行う28

その他の機能29

Wi-Fi 機能を無効にする29

Bluetooth 機能を無効にする29

ネットワーク設定を初期化する30

オートスタンバイ機能を設定する30

故障かな？と思ったら31

全般31

ネットワーク32

Bluetooth34

ラジオ35

対応機器 / メディアと ファイル形式36

主な仕様37

商標38

安全上のご注意39

はじめに

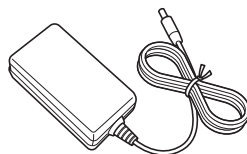
付属品と、本書の見方について確認しておきましょう。

付属品

□ FMアンテナ



□ ACアダプター



(品番: AY30AA-BF1202502-JP/-01)

□ 縦置きスタンド



□ ネジ



誤飲防止のため、ネジはお子様の手の届かないところに保管してください。

□ 滑り止めパッド



□ クイックマニュアル

棚に置く場合

滑り止めパッドを底面の2ヶ所に貼り付けてください。振動によりスピーカーがすべるのを防ぎます。

壁に掛ける場合

音の振動が壁に伝わるのを防ぐため、滑り止めパッドを背面の2ヶ所に貼り付けてお使いください。

本書について

- iOSおよびAndroid携帯端末を総称して、「モバイル端末」と表記しています。必要な場合は、説明文中で携帯端末の種類を特定しています。
- 本文中のiPhoneという表記はiPod/iPad も含みます。
- イラストは取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。
- マークについて



使用時の注意点や機能の制約が記載されています。



知っておくと便利な補足情報が記載されています。



関連情報が記載されているページです。

MusicCastで簡単ホームオーディオネットワーク

アプリを使って簡単操作



MusicCast はご家庭の複数の部屋に設置したオーディオ機器で音楽を簡単に共有するための機能です。専用のモバイル端末アプリ「MusicCast CONTROLLER」でMusicCast対応機器を操作し、インターネットラジオやパソコンやNAS などのサーバー、モバイル端末などに保存された音楽をMusicCast 対応機器で同時に再生できます。MusicCast対応機器については、ヤマハのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.yamaha.com/musiccast/>

使用条件

- 詳しくは、App Store またはGoogle Play™ で「MusicCast CONTROLLER」を検索してください。
- アプリはiPhone/iPad/iPod touch とAndroid 機器に対応しています。詳しくは、各ストアに掲載された説明をご覧ください。

本機をお使いになるには、モバイル端末アプリ「MusicCastCONTROLLER」が必要です。
モバイル端末にMusicCast CONTROLLERをインストールしてください。

■ 本機でできること

本機の操作は専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」で行います。☼マークはISX-18本体からも操作できます。

基本操作

電源オン/スタンバイ	☼
音量の調節	☼
消音（ミュート）	
ソースの切り替え	☼
音質の調整	
イコライザー（低音/中音/高音）	

時計/アラームを使う

時計	
時刻設定（手動/自動）	
表示（12時間/24時間）の切り替え	
アラーム機能	
アラーム機能のオン/オフ	☼
アラームの停止	
アラーム時刻の設定	
アラーム音の設定	
アラーム音量の調節	
スヌーズを使う	

ネットワーク上のコンテンツを楽しむ

モバイル端末の音楽を聴く	
インターネットラジオを聴く	
パソコンやNASの音楽ファイルを再生	
AirPlayで音楽を再生	
radiko.jpを聴く	
「お気に入り（プリセット）」へのコンテンツの登録	
コンテンツの登録/削除	
登録したコンテンツの呼び出し	☼

MusicCastネットワーク

MusicCastネットワークによる音声配信	
リンク配信	
出音調整機能	
Bluetooth配信	

Bluetooth

Bluetooth接続で音楽を楽しむ

Bluetooth機器の接続	
Bluetooth機器の切断	☼

FMラジオを聴く

放送局を選ぶ（手動/自動）	
「お気に入り（プリセット）」への放送局の登録	
放送局の手動登録/削除	
放送局の自動登録	
登録した放送局の呼び出し	☼

本機の各種設定

スリープタイマーの設定	
前面ディスプレイの明るさ調節（DIMMER）	

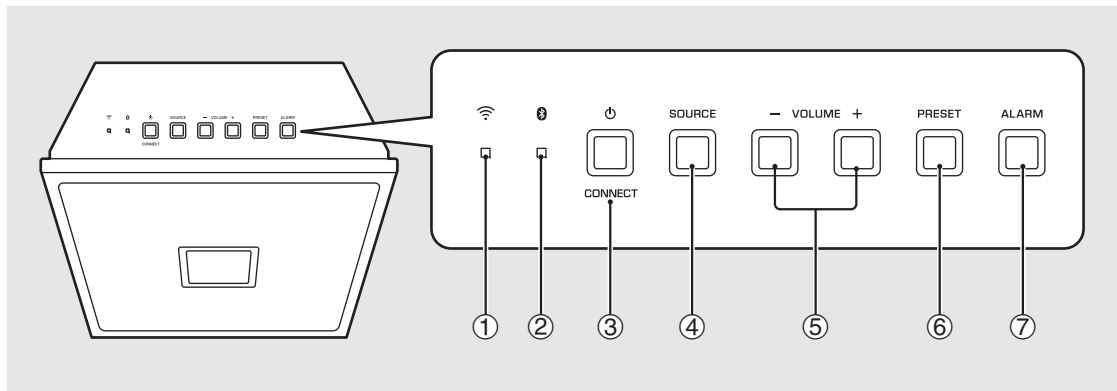
Music Enhancer機能

本機は、**Bluetooth**接続による圧縮デジタル音声で失われた音を補完し、よりよい音で音楽を楽しめる「Music Enhancer」機能を搭載しています。

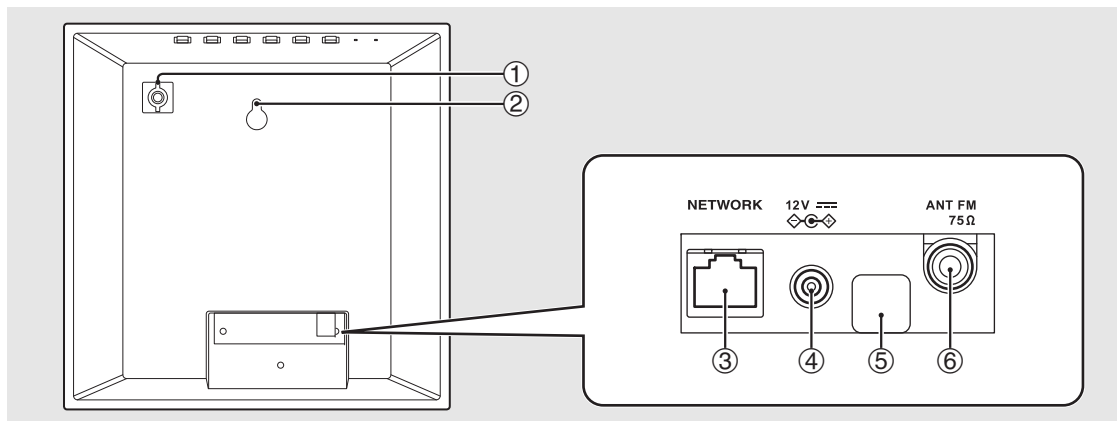
各部の名称

本機の各部分の名前と機能をご確認ください。

■ 上面

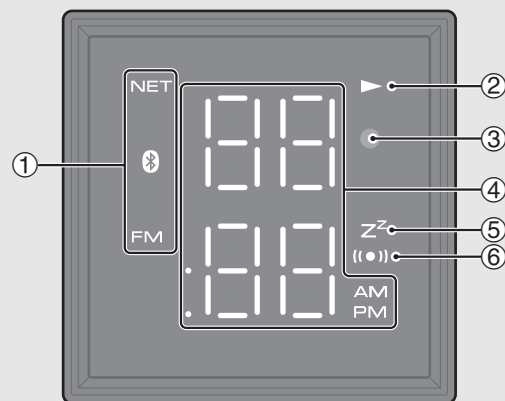


■ 背面/底面



- ① Wi-Fi インジケータ (P.12)
 - ② Bluetooth インジケータ (P.20)
 - ③ (電源) / CONNECT (P.12)
電源のオン/スタンバイを切り替えます。
 - ④ SOURCE
再生するソースを選びます。
 - ⑤ VOLUME - / +
音量を調節します。
 - ⑥ PRESET (P.18, 23)
登録したネットワークコンテンツやFM放送局を呼び出します。
 - ⑦ ALARM (P.25)
アラーム機能のオン/オフ切り替えやアラームを停止させます。
-
- ① スタンド取り付け用ネジ穴 (P.8)
 - ② 壁掛け用穴 (P.8)
 - ③ NETWORK 端子
ネットワーク
 - ④ DC 入力端子 (P.10)
12V
 - ⑤ サービス端子
サービスマンテナンス用の端子です。ケーブルを接続したり、付属のキャップを取り外したりしないでください。
 - ⑥ ANT FM 端子 (P.9)
アンテナ
75Ω

前面ディスプレイ



① ソースインジケータ

選択中のソースを表示します。

NET : ネットワークソース

📶 : Bluetooth

FM : FMラジオ

② 再生インジケータ

再生中に点灯します。

③ 照度センサー

周囲の明るさを感知します。センサーが隠れないようにしてください。

④ 多機能インジケータ

時計の時刻、音量の設定など、さまざまな情報を表示します。

⑤ スリープタイマーインジケータ

スリープタイマーを設定すると点灯します(☞ P.27)。

⑥ アラームインジケータ

アラーム機能をオンにすると点灯します(☞ P.25)。



前面ディスプレイの時計を合わせる

専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」で設定できます。部屋の選択画面で ⚙️ (設定) をタップしてください。

アプリを使用すると、モバイル端末の時計の時刻と自動で同期します(自動設定)。

アプリから時刻を設定することもできます(手動設定)。

- 時刻は12時間表示または24時間表示に切り替えます。
- 電源アダプターをコンセントから抜いて1週間ほど経過すると時計はリセットされます。時計を再設定してください。

前面ディスプレイの明るさを調整する

専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使うと、前面ディスプレイの明るさを調節できます。部屋の選択画面で ⚙️ (設定) をタップしてください。

- 自動(初期設定) : 周囲の明るさに合わせて自動調節します。
- 0 : 暗い
- 1 : 0と2の間
- 2 : 明るい

「自動」に設定した場合は、前面ディスプレイの照度センサーで周囲の明るさを感知します。センサーが隠れないようご注意ください。

準備する

設置する

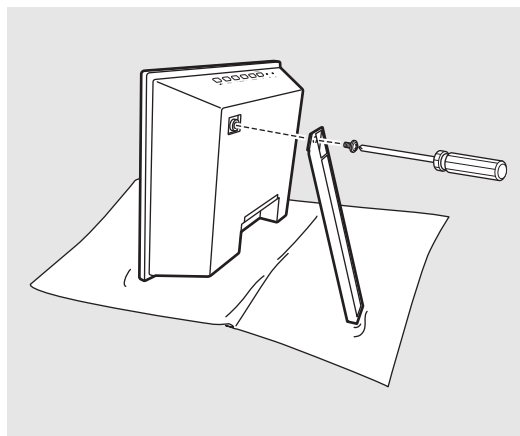
棚に置く場合

組み立てには、プラスドライバーが必要です。

付属のネジで縦置きスタンドを取り付ける。

ご注意

- ・ 脱落防止のため、必ず付属のネジを使用してください。
- ・ 本体部分がぐらつかないよう、ネジはしっかりと締めてください。
- ・ 本体部分だけの使用はできません。組み立てた状態でご使用ください。
- ・ 取り付け後は以下のことに注意して、安定した場所に設置してください。
 - 鉄板などの金属板の上には置かない。
 - 本機を布などで覆わない。



- ・ テーブルの上に柔らかい布などを敷いてから取り付け作業を行ってください。
- ・ 誤飲防止のため、ネジはお子様手の届かないところに保管してください。

壁に掛ける場合

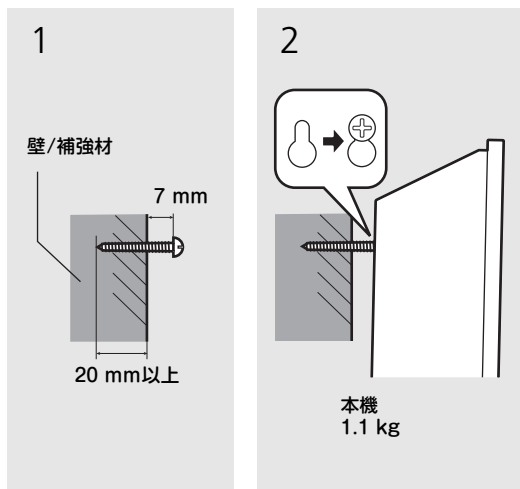
1 ネジを壁に取り付ける。

- ・ 市販のタッピングネジ（ネジ径3.5～4 mm）を1本用意してください。

2 背面の壁掛け用穴をネジに掛ける。

ご注意

- ・ 設置後は必ず安全性を確認してください。設置場所、設定方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。安全性に不安がある場合は、専門の施工業者に設置工事を依頼してください。



- ・ タッピングネジが穴の狭い部分に確実に入っていることをご確認ください。
- ・ モルタルや化粧ベニヤ板など、はがれやすい材質の壁には取り付けないでください。ネジが抜けて落下すると、故障、けがの原因になります。
- ・ 釘や両面テープなどで取り付けないでください。長期の使用により、振動で釘がゆるんだり、両面テープがはがれたりして落下する危険性があります。
- ・ 落下防止のため、市販の落下防止ワイヤーの取り付けをおすすめします。付属のネジを使って縦置きスタンド取り付け穴に取り付けてください。

FMアンテナを接続する

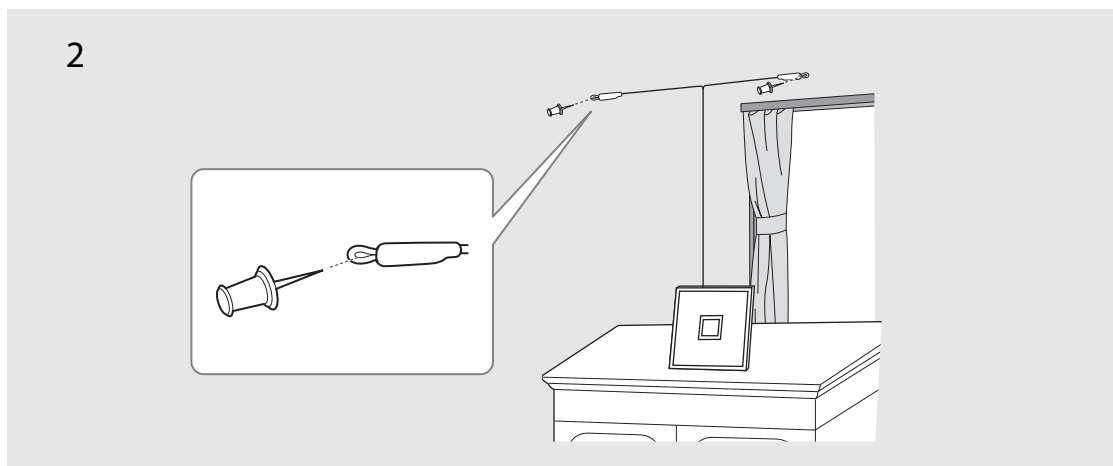
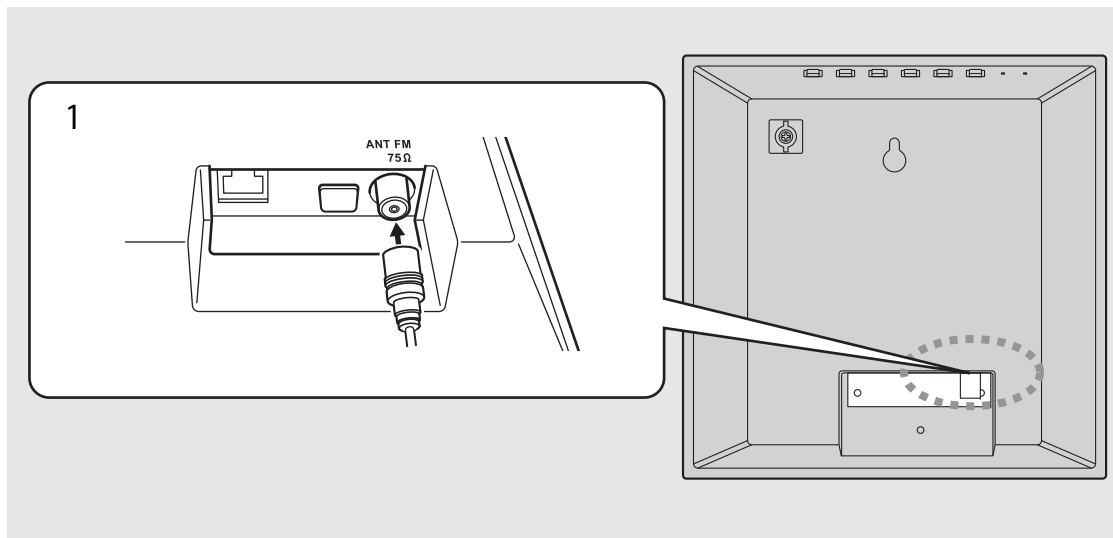
1 付属のFMアンテナを接続する。 (端子の保護キャップは取り外す。)



- ・取り外した保護キャップは誤飲防止のため、お子様の手の届かないところに保管してください。

2 最もよく受信する位置にピンで固定する。

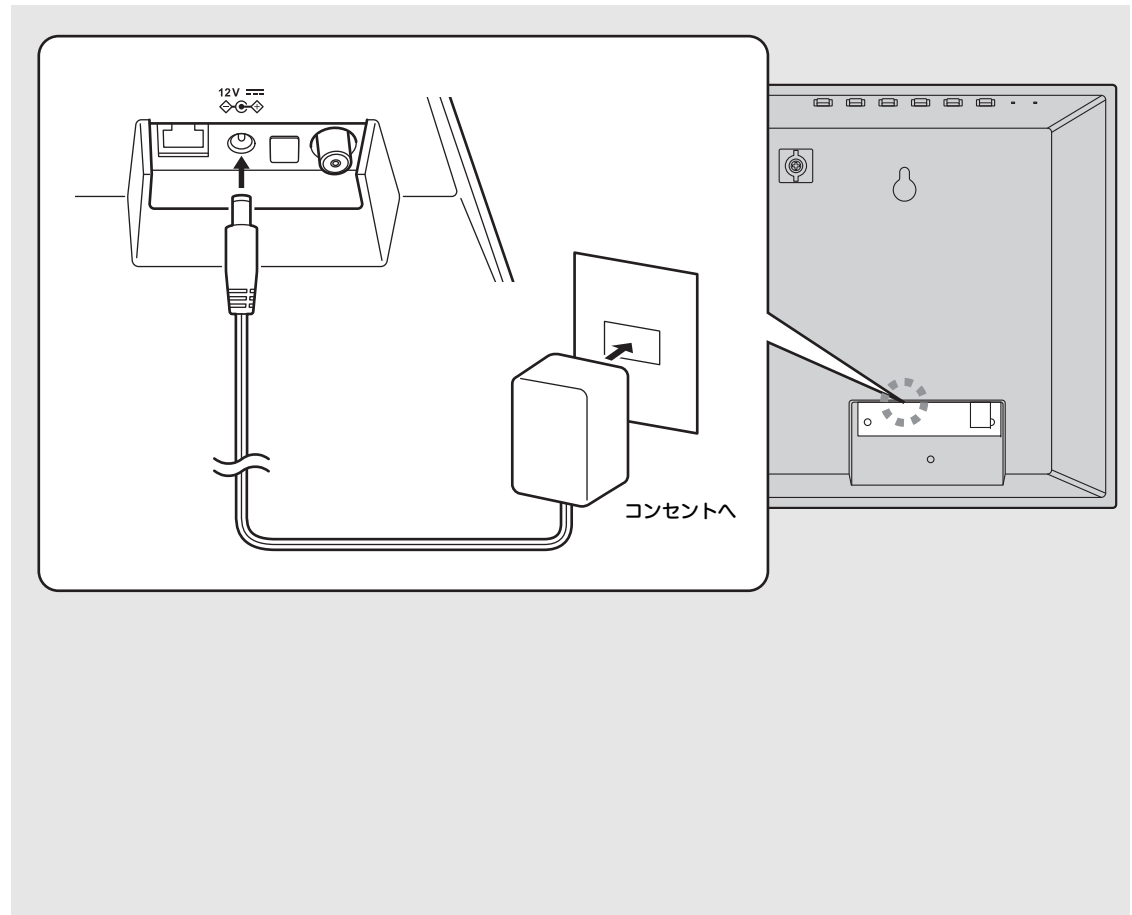
- ・アンテナはイラストのように伸ばして張ってください。
- ・受信状態が悪い場合は、アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。
- ・付属のアンテナの代わりに市販の屋外アンテナを使用すると改善される場合があります。



ACアダプターを接続する

電源アダプターは、すべてのケーブルを接続し終わってからコンセントに差し込んでください。

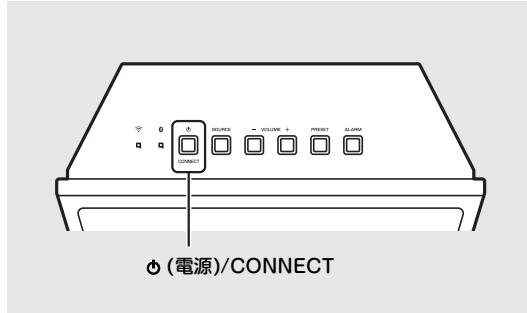
- コードは手足を引っ掛けないように配置してください。



電源を入れる

ACアダプターをコンセントに差し、
ⓘ (電源) /CONNECTを押す。

- 「電源オン」になります。
- もう一度 ⓘ (電源) /CONNECTを押すと電源が切れます (スタンバイ)。



ネットワークスタンバイ

スタンバイ中でも時計を表示したり、ネットワーク接続の待機状態にしたりできます (ネットワークスタンバイ)。

ネットワークスタンバイをオフにすると、時計表示を行わずに消費電力を抑えることができます (エコスタンバイ)。詳しくは右表をご覧ください。

ネットワークスタンバイのオン/オフは次の手順で切り替えできます。

- 1 本体の**ALARM**を押しながら、ACアダプターをコンセントに差し込む。
- 2 **ALARM**を押し続ける。

- 前面ディスプレイに「ON」あるいは「OFF」と表示されます。



- ご購入後はじめて本機の電源を入れたとき、Wi-Fi インジケーターが点滅し、自動的にiOSデバイスの検索を開始します (☞ P.14)。



- 電源を入れると前面ディスプレイのソースインジケーター (☞ P.7) が点灯します。

ネットワークスタンバイ/エコスタンバイ時の本機の動作

	ネットワークスタンバイ	エコスタンバイ
時計の設定	○	×
アラームの設定/解除	○	×
アプリからの操作	○	×
時計表示	○	×
ネットワーク接続	○	×
Bluetooth接続	○	×



- オートスタンバイがオン (初期設定) の場合、次の条件で本機は自動的にスタンバイになります。
 - Bluetoothまたはネットワークがソースとして選ばれ、音声入力および操作が無い状態で20分経過した場合。
 - FMラジオの受信時に8時間経過した場合。


■ ネットワークを設定する

本機をネットワークに接続することで、パソコンやモバイル端末、ネットワーク接続ストレージ (NAS) などのDLNA^{*} サーバーに保存されている音楽ファイル、またはインターネットの音声コンテンツを再生できます。

^{*} Digital Living Network Alliance (デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス)

■ 「MusicCast CONTROLLER」を使ってネットワークに接続する

1 「MusicCast CONTROLLER」を起動し、「設定する」をタップする。


- 2 台目以降の MusicCast 対応機器を設定する場合は、アプリの  (設定) をタップし、本機を新しい機器として登録してください。

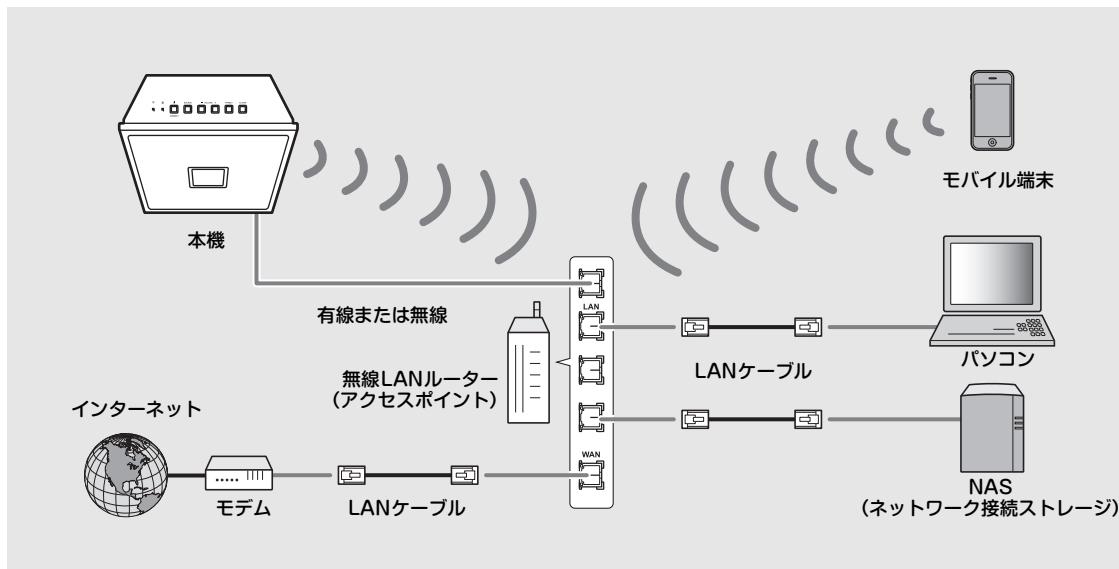
2 本機を電源オンにする。

3 本機の (電源) /CONNECT を5秒以上押し続ける。

- アプリに表示されるガイドに従って設定してください。

4 「MusicCast CONTROLLER」に従って音楽を再生する。

- ネットワークに無線接続すると、Wi-Fi インジケータ ( P.6) が点灯します。



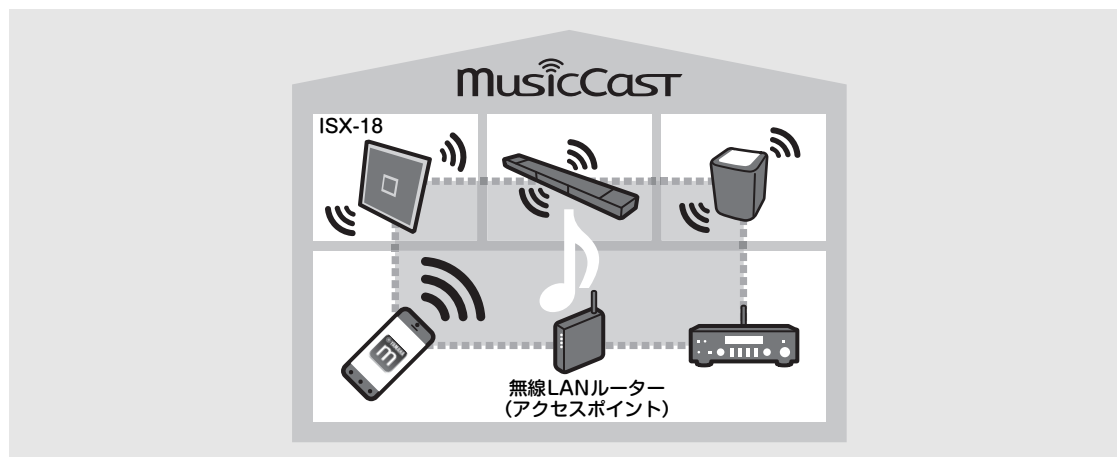
- インターネットの接続については、お使いの接続機器に付属している取扱説明書をご覧ください。
- セキュリティソフトや、接続機器の設定（ファイアウォールなど）により、本機がパソコンやインターネットラジオにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトや接続機器の設定を変更してください。
- 本機をLANケーブルで接続する場合、接続ケーブルは市販のSTP ネットワークケーブル（CAT-5 以上のストレートケーブル）を使用してください。
- 専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」で本機と他の接続機器が同じルーターに接続されているか、確認してください。

機器の設定から再生まで

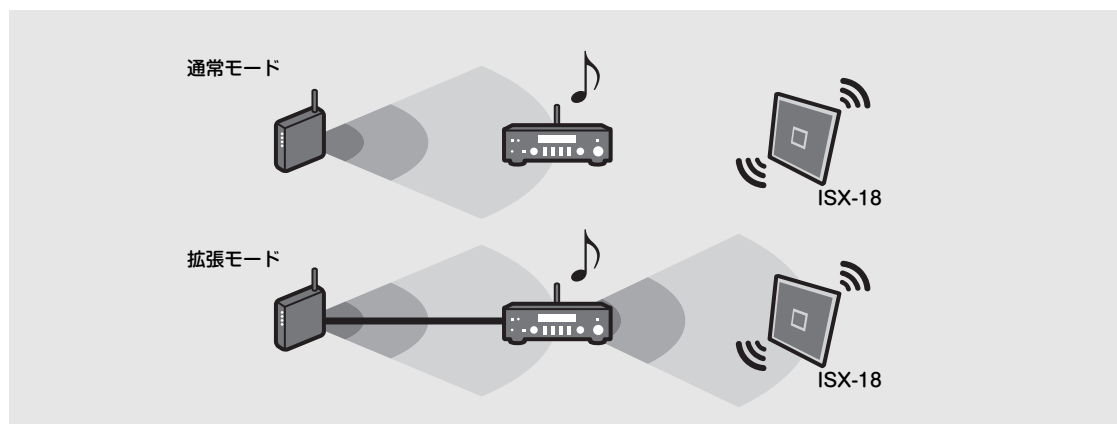
専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使って、右のようなネットワーク（MusicCastネットワーク）をつくります。



- MusicCast対応機器のうち1台を有線でルーターに接続すると、電波の届く範囲を広げることができます（拡張モード）。ルーターからの電波が届きにくい場所へ機器を設置する場合にお使いください。



- 設置場所によっては、ハイレゾ音源（高解像度の音声データを持つ音源）を再生できないことがあります。その場合は、再生するMusicCast対応機器を有線でルーターに接続してください。



■ iOSデバイスの設定を共有してネットワークに接続する

ご購入後、またはネットワーク設定を初期化した後にはじめて本機の電源を入れた時（☞ P.12）、Wi-Fi インジケーターが点滅し、自動的にiOS デバイス（iPhone など）の検索を開始します。お手持ちのiOS デバイスのネットワーク設定を本機に適用して、簡単にネットワーク接続することができます。設定を始める前に、お使いのiOS デバイスが無線LAN ルーター（アクセスポイント）に接続されていることを確認してください。

「MusicCast CONTROLLER」を使ってネットワークに接続する場合、設定する必要はありません。

iOSデバイスのWi-Fi設定画面を開き、「新しいAIRPLAYスピーカーを設定...」から本機を選ぶ。

- 以降は、iOSデバイスの画面の指示にしたがって操作します。
- 本機のすべての機能をお楽しみいただくには「MusicCast CONTROLLER」を使ってネットワークに接続してください（☞ P.12）。



- iOS7.1 以降を搭載した iOS デバイスが必要です。
- ご使用の無線LANルーター（アクセスポイント）がWEP暗号化されている場合は、iOSデバイスのネットワーク設定を共有してネットワークに接続できません。

ネットワークコンテンツを楽しむ

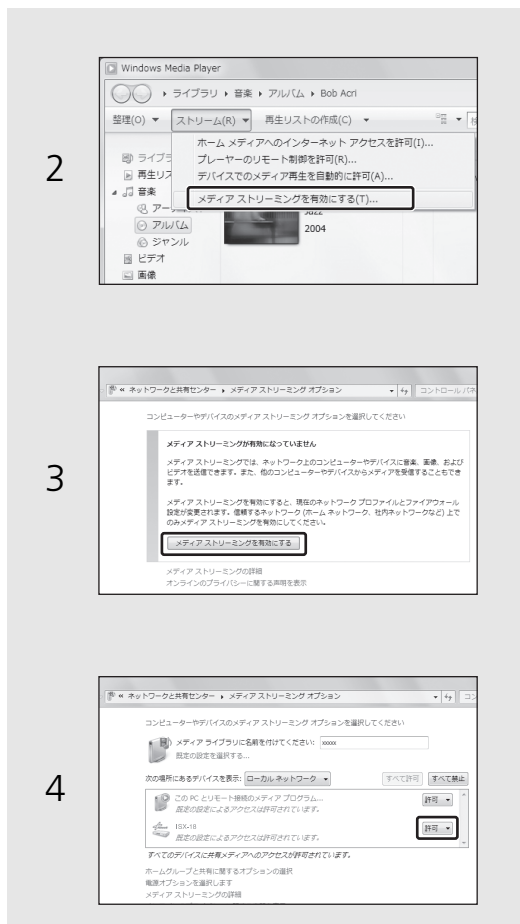
ネットワークにつないだパソコン（サーバー）やNAS内のMP3やWMA、FLAC（音質劣化のない可逆型音声圧縮方式）などの音楽ファイルを本機で再生できます。また、インターネット上に配信されている世界中のラジオ放送を本機で聴くことができます。

パソコンの曲を聴く

音楽ファイルの共有設定をする

パソコン内の音楽ファイルを再生するには、本機とパソコン（Windows Media Player 11以降）で音楽ファイルを共有する設定が必要です。ここでは、Windows Media Player 12 (Windows 7)を例に説明します。

- 1 パソコンでWindows Media Player 12を起動する。
- 2 メニューバーの「ストリーム」から、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。
 - パソコンのコントロールパネル画面が表示されます。
- 3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする。
- 4 機種名の右側のドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。
- 5 「OK」をクリックして設定を終了する。



- 共有設定については、Windows Media Playerのヘルプをご覧ください。

Windows Media Player 11を使う場合

- 1 パソコンで Windows Media Player 11 を起動する。
- 2 「ライブラリ」から「メディアの共有」を選ぶ。
- 3 「メディアを共有する」をチェックし、「ISX-18」アイコンを選んで「許可」をクリックする。
 - リストに出てくる名前は、機器の名称（部屋の名前）です。部屋の名前は、アプリの部屋の選択画面にある {X} (設定) から変更できます。部屋の名前を設定していない場合は、「ISX-18 ***」と表示されます (** は任意の数字です)。

- 4 「OK」をクリックして設定を終了する。

各機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照してメディアの共有設定を行ってください。

Windows Media Player 以外の DLNA サーバソフトがインストールされているパソコン（サーバー）の場合

各機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照してメディアの共有設定を行ってください。

- リストに出てくる名前は、機器の名称（部屋の名前）です。部屋の名前は、アプリの部屋の選択画面にある {X} (設定) から変更できます。部屋の名前を設定していない場合は、「ISX-18 ***」と表示されます (** は任意の数字です)。

パソコンの曲を再生する

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で「Server」を選ぶ。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって再生する。



- あらかじめお好みの曲を登録できます (P.18)。

インターネットラジオを聴く

インターネット上に配信されている世界中のラジオ放送を本機で聴くことができます。
本機がインターネットに正しく接続されているか確認してください (☞ P.12)。

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で「Net Radio」を選ぶ。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって再生する。

radiko.jpを聴く

radiko.jpは、地上波ラジオ放送をCMも含めて同時にインターネットで配信する「IP (Internet Protocol) サイマルラジオ」サービスです。
本機がインターネットに正しく接続されているか確認してください (☞ P.12)。

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で「radiko.jp」を選ぶ。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって再生する。



- あらかじめお好みの局を登録できます (☞ P.18)。
- パソコンのウェブブラウザで下記のウェブサイトアクセスすると、新しいラジオ局をリストに追加するなどのvTunerの機能をご利用いただけます。
<http://yradio.vtuner.com/>
 - インターネットラジオ局を登録する前に、本機でいずれかのインターネットラジオ局を再生してください。
 - 登録に必要なアカウントの作成には本機のvTuner IDと電子メールアドレスが必要です。vTuner IDは「MusicCast CONTROLLER」アプリの画面で確認できます。部屋の選択画面で (設定) をタップして、本機の情報を確認してください。



- 放送エリアに準じた地域に配信するサービスのため、エリア（都道府県）ごとに対応している放送局が異なります。対応しているエリアや放送局については、radiko.jpのウェブサイトをご覧ください。
- radiko.jpプレミアム（エリアフリー聴取）に登録すると、全国のラジオ局（一部を除く）を受信できます。radiko.jpプレミアムを利用するには、radiko.jpのウェブサイトでのプレミアム会員登録（有料）を行ってください。登録後、モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」から登録したメールアドレスとパスワードを入力して、ログイン設定を行ってください。エリアフリー聴取可能局については、radiko.jpのウェブサイトをご覧ください。
- あらかじめお好みの局を登録できます (☞ P.18)。

■ ネットワークコンテンツを登録する

40個まで登録できます。登録すると簡単にコンテンツを再生できます。

「MusicCast CONTROLLER」を使う

コンテンツを登録する

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で登録したいコンテンツを再生する。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって登録する。

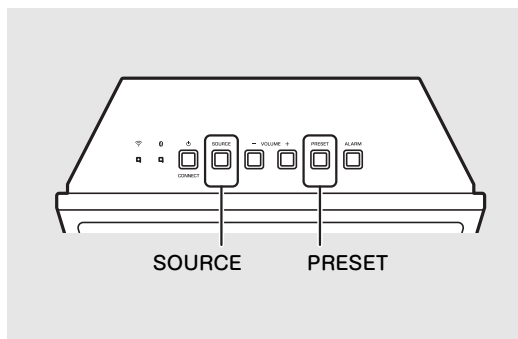
登録したコンテンツを選ぶ

- 1 「MusicCast CONTROLLER」の「お気に入り」で登録したコンテンツを選ぶ。

本体ボタンで操作する

登録したコンテンツを選ぶ

- 1 **SOURCE**を押してネットワークソースを選ぶ。
- 2 **PRESET**を押してコンテンツを選ぶ。




AirPlayで音楽を聴く

AirPlay機能を使って、iPhoneやiTunesの音楽ファイルをネットワーク経由で再生します。
再生の前に、本機とパソコンやiPhoneが同じルーターに接続されているか確認してください（☞ P.12）。

iPhoneで曲を再生する

1 本機の電源を入れ、iPhone の音楽再生画面を表示する。


- iPhoneが本機を認識すると、iPhoneの画面に  が表示されます。

2 をタップし、リスト内の本機を選ぶ。

- 音楽ソースが自動で「AirPlay」に切り替わります（エコスタンバイ時を除く）。


3 iPhoneで曲を再生する。



- iOS7/iOS8/iOS9を搭載したiPhoneの場合は、コントロールセンター内に  が表示されます。コントロールセンターを表示するには、iPhoneの画面を下から上にスワイプします。




AirPlayを解除する

- iPhone/iTunesの画面で  をタップ/クリックし、スピーカーリストで本機以外の再生機器を選びます。

iTunesで曲を再生する

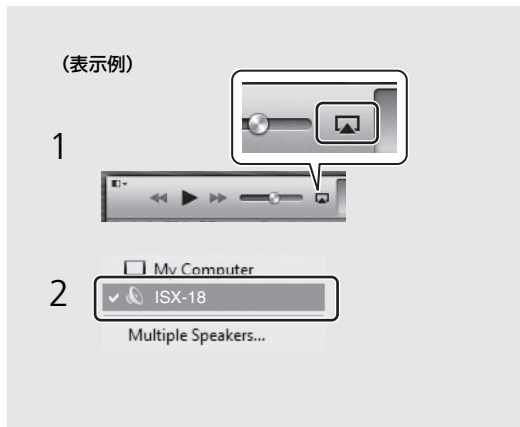
1 本機の電源を入れ、iTunes を起動する。

- iTunesが本機を認識すると、iTunesの画面に  が表示されます。

2 をクリックして、本機を選ぶ。

- 音楽ソースが自動で「AirPlay」に切り替わります（エコスタンバイ時を除く）。

3 iTunesで曲を再生する。

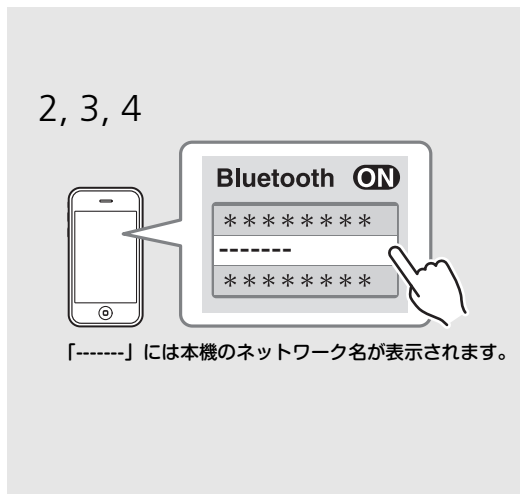
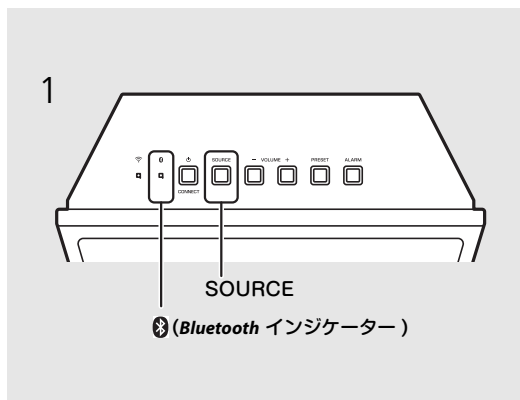


Bluetooth接続で音楽を聴く

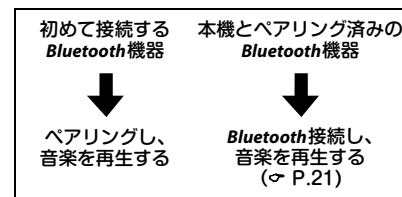
Bluetoothに対応した機器の音楽を簡単にワイヤレスで楽しめます。

■ 本機とBluetooth機器のペアリング

- 1 SOURCE を繰り返し押してソースをBluetoothにする。
- 2 お使いの機器の Bluetooth 機能をオンにする。
- 3 お使いの機器のBluetooth設定で本機（本機のネットワーク名称）を選ぶ。
 - ペアリング完了後、Bluetooth接続するとBluetoothインジケータ（☞ P.6）が点灯します。
 - ペアリング完了後、お使いの機器が本機と自動的に接続しない場合は、機器のBluetooth設定でもう一度本機（本機のネットワーク名称）を選んでください。
 - Bluetooth機器側の詳細は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
- 4 お使いの機器で音楽を再生する。



- 本機とはじめてBluetooth接続するときは、Bluetooth機器（接続機器）を本機に登録します。これを「ペアリング」といいます。一度ペアリングが完了すると、Bluetooth接続を切断してもそれ以降は簡単に再接続できます。



- 本機が他の接続機器と接続している場合は、**SOURCE**を長押ししてBluetooth接続を切断してからペアリングを行ってください。
- 接続機器のペアリング情報が削除された場合には、再度本機とペアリングを行う必要があります。
- 本機のネットワーク名称は「MusicCast CONTROLLER」で確認や変更ができます。
- ペアリング中にパスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力してください。

▶ ペ어링済みの機器を Bluetooth 接続して音楽を再生する

他の機器と Bluetooth 接続している場合は、切断（右記を参照）してから Bluetooth 接続をしてください。

1 接続操作をする。

- 本機から接続する場合：
SOURCE を繰り返し押してソースを Bluetooth にします。
- Bluetooth 機器から接続する場合：
Bluetooth 機器の Bluetooth 設定をオンにし、使用可能なデバイスのリストから本機（本機のネットワーク名称）を選びます。
- 接続すると Bluetooth インジケータ（☞ P.6）が点灯します。

2 接続機器で音楽を再生する。



- 再生前に本機の音量を十分に下げてください。大音量で再生が始まる場合があります。



- 本機から接続する場合は、最後に接続した機器を探して接続します（接続機器側は Bluetooth 設定をオンしておく必要があります）。

Bluetooth 接続を切断する

次のいずれかを行ってください。

- SOURCE を繰り返し押して Bluetooth 以外のソースにする。
- 本機をスタンバイにする。
- 接続機器から Bluetooth 接続を切断する。
- ソースが Bluetooth のときに SOURCE を長押しする。

■ ワイヤレスヘッドホンで音楽を聴く

本機で再生する音声を **Bluetooth** 対応のワイヤレスヘッドホンなどで聴くことができます。モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」を使って、ワイヤレスヘッドホンに音声を送信します。

1 **Bluetooth**機器（ワイヤレスヘッドホンなど）を、**Bluetooth**接続待ちの状態にする。

2 「MusicCast CONTROLLER」の再生画面で  をタップする。

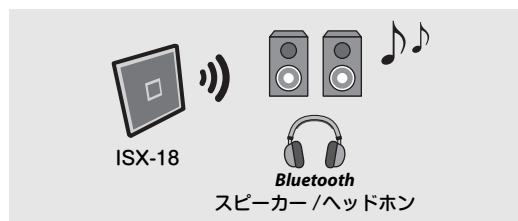
3 「**Bluetooth**送信設定」をタップする。

4 **Bluetooth**機器（ワイヤレスヘッドホンなど）を選ぶ。

- 接続が完了すると、**Bluetooth**インジケータ（ P.6）が点灯します。

5 「完了」をタップする。

- 送信先の **Bluetooth**機器（ワイヤレスヘッドホンなど）から音が出ます。



- A2DP プロファイルに対応した **Bluetooth** 機器をお使いください。
- AirPlayや**Bluetooth**機器の音声を他の**Bluetooth**機器に送信して聴くことはできません。



- 本機からも再生音が出ます。
- 「MusicCast CONTROLLER」の画面はiPhoneの表示例です。
- ご使用の際には、**Bluetooth**機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

FMラジオを聴く

FMラジオを聴くにはFMアンテナを接続します。

FMアンテナの接続方法については「FMアンテナを接続する」(P.9)をご覧ください。

● 放送局を選ぶ

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で「Tuner」を選ぶ。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって放送局を選ぶ。

● 放送局を登録する

30個まで登録できます。

「MusicCast CONTROLLER」を使う

放送局を登録する

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で登録したい放送局を再生する。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって登録する。

登録した放送局を選ぶ

- 1 「MusicCast CONTROLLER」の「お気に入り」で登録した放送局を選ぶ。

本体ボタンで操作する

登録した放送局を選ぶ

- 1 **SOURCE**を押して「FM」を選ぶ。
- 2 **PRESET**を押して登録した放送局を選ぶ。



- 「MusicCast CONTROLLER」では、受信可能なすべての放送局を、自動で登録できます（オートプリセット機能）。

アラーム機能を使う

本機には、音楽ソースやビーブ音（内蔵アラーム音）をさまざまな方法で設定時刻に再生するアラーム機能（IntelliAlarm）が搭載されています。^{インテリアラーム}アラーム機能を使う場合は、あらかじめ時計の時刻を設定してください（☞ P.7）。本機のアラーム機能には次の特徴があります。

3つのアラームタイプ

音楽と「ピピピ」というビーブ音を組み合わせた、3つのアラームタイプが選択できます。「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって設定してください。

音楽ソースのみ	音楽ソースを設定時刻に再生します。小さい音量から再生を始め、徐々に音量が大きくなります。
音楽ソースとビーブ音	音楽ソースとビーブ音を設定時刻に再生します。快適な目覚めを提供するお勧めの設定です。 アラーム時刻の3分前：音楽ソースの再生を始め、アラーム時刻に向けて徐々に音量が大きくなります。 アラーム時刻：音楽ソースに加え、ビーブ音を再生します。
なし	ビーブ音をオン（☞ P.25）に設定すれば、ビーブ音のみ再生できます。

音楽ソース

ネットワークコンテンツやラジオが選択できます。音楽ソースによって、次のように再生方法を選択できます。

音楽ソース	再生方法	機能
ネットワークコンテンツ	プリセット	指定したネットワークコンテンツを再生します。
	レジューム	最後に再生していたネットワークコンテンツを再生します。
FMラジオ	プリセット	指定選択したプリセット局を再生します。
	レジューム	最後に聴いていた放送局がかかります。



• Bluetooth接続機器は音楽ソースとして使用できません。

スヌーズ

一時的にアラーム音を停止し、5 分後に再びアラーム音を再生します（☞ P.26）。

アラームの時刻を設定する

1 「MusicCast CONTROLLER」の部屋の選択画面で ⚙️ (設定) をタップする。

2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって以下を設定する。

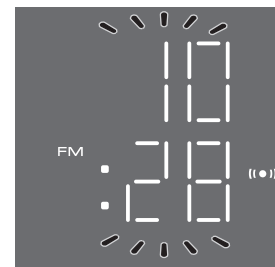
- アラーム時刻
- リピート機能の有効/無効
- ビープ音のオン/オフ
- アラーム音量

3 再生ソースを選択する。

- アラーム時刻に選択された再生ソースの状況によっては、音が出ないことがあります。



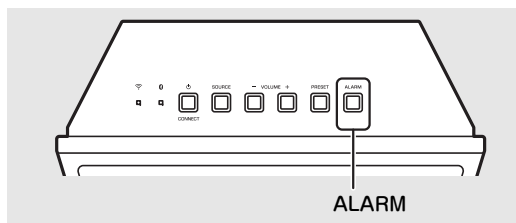
- 設定中は前面ディスプレイの (●) とアラーム時刻が点滅します。設定が終わると点灯に変わります。



アラーム機能をオン/オフする

ALARMを押す。

- アラーム機能をオンにすると、(●)が点灯し、アラーム時刻が数秒間表示されます。もう一度**ALARM**を押すと、(●)が消灯し、アラームがオフになります。

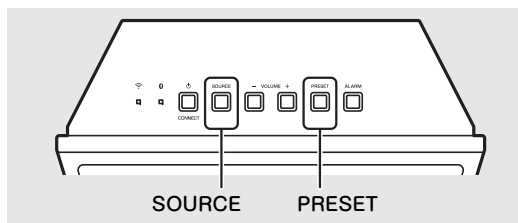


- アラームを停止させても、アラーム時刻など設定した内容は保持されます。再度**ALARM**を押してオンにすれば、前回の設定内容でアラームが再生されます。

アラームを一時的に停止する(スヌーズ)

アラーム再生中に **SOURCE** または **PRESET** を押す。

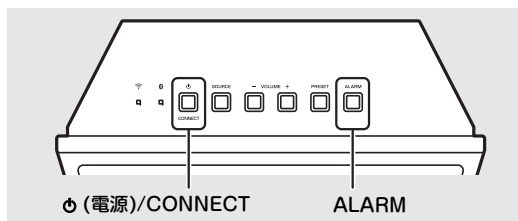
- スヌーズ機能により、5 分後に再度アラームを再生します。



- 音楽ソースとビーブ音を再生しているときは、**SOURCE** または **PRESET** を 1 回押すとビーブ音を停止し、2 回押すと音楽ソースを停止します。音楽ソースが停止されてから 4 分後に再び音楽ソースを徐々に音量を上げながら再生し、さらに 1 分後にビーブ音を鳴らします。
- スヌーズ中は前面ディスプレイの (●) が点滅します。

アラームを停止する


アラーム再生中に **ALARM** または (電源) / **CONNECT** を押す。




- アラーム音を停止しない場合、60 分後に自動的に停止します。
- アラームを停止させても、アラーム時刻など設定した内容は保持されます。再度 **ALARM** を押してオンにすれば、前回の設定内容でアラームが再生されます。

スリープタイマーを使う

本機が自動的にスタンバイになる時間を設定できます。

- 1 「MusicCast CONTROLLER」の再生画面で  をタップする。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって時間を設定する。

- 時間は120/90/60/30分またはオフから選べます。
- 時間を選択すると  が点灯し、スリープタイマーが設定されます。



- スリープタイマーを解除するにはスリープタイマーの設定を「オフ」にします。

ファームウェアを更新する

ネットワークから最新のファームウェアが検出されると、前面ディスプレイに「UP」が表示されます（前面ディスプレイの「UP」表示は、いずれかのボタンを押すと消えます）。ファームウェアを更新する方法は2種類あります。

モバイル端末から行う

「MusicCast CONTROLLER」を使ってファームウェアの更新ができます。「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって更新してください。

本体から行う

- 1 電源（電源）/CONNECTを押し、電源を切る
- 2 コンセントからプラグを抜く。
- 3 PRESETを押しながら、プラグをコンセントに差し込む。
 - 「UP」の表示が点滅します。
- 4 PRESETを押す。
 - 更新が始まり、更新が終了すると図のような表示が点滅します。



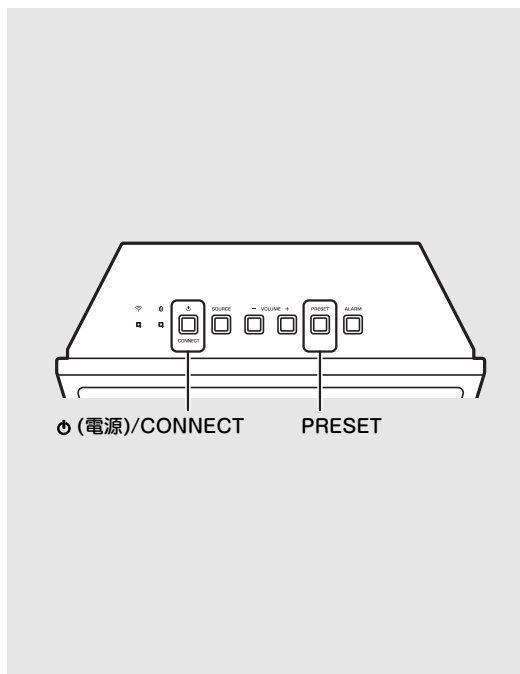
- 5 電源（電源）/CONNECTを押し、通常の表示に戻るのを確認する。



- ファームウェア更新中は、本機を操作したり電源アダプターを抜いたりしないでください。



- インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、ワイヤレスネットワークアダプターを介して本機を無線ネットワークに接続している場合など、接続状態によってはファームウェアの更新に失敗することがあります。失敗した場合は「Er」の表示が点滅します。その場合は、時間をおいてもう一度更新してください。



その他の機能

Wi-Fi機能を無効にする

1 電源 /CONNECTを押して本機をスタンバイにする。

2 SOURCEとPRESETを5秒間押す。

- 前面ディスプレイの NET と Bluetooth が交互に点滅します。

3 10秒以内にVOLUME -を2秒間長押しする。

- Wi-Fi機能を無効にすると前面ディスプレイに「OFF」と表示されます。
- Wi-Fi機能を有効にするには、「ネットワークを設定する」(P.12) の手順にしたがって、本機をネットワークに再接続してください。
- Wi-Fi 機能が無効になっているときに、ソースをネットワークコンテンツに切り替えると前面ディスプレイに「OFF」と表示されます。

Bluetooth機能を無効にする

1 電源 /CONNECTを押して本機をスタンバイにする。

2 SOURCEとPRESETを5秒間押す。

- 前面ディスプレイのNETと Bluetooth が交互に点滅します。

3 10秒以内にVOLUME +を2秒間長押しする。

- 操作を繰り返すたびに、有効/無効が切り替わり、前面ディスプレイに「ON」/「OFF」と表示されます。
- Bluetooth機能が無効になっているときに、ソースをBluetoothに切り替えると前面ディスプレイに「OFF」と表示されます。




- ネットワークスタンバイ設定 (P.11) を「ON」にしてください。



- ネットワークに接続したときやネットワーク設定を初期化したときは、無線機能が有効になります。


■ ネットワーク設定を初期化する

- 1 電源 / **CONNECT** を押し、電源を切る。
- 2 コンセントからプラグを抜く。
- 3 電源 / **CONNECT** を押しながら、プラグをコンセントに差し込む。

- ソースインジケータ（NET と ）が数秒間点滅したあと、時計表示になります。



■ オートスタンバイ機能を設定する

本機を電源オンにした後は、約20分間再生や操作を行わないと自動でスタンバイになります。オートスタンバイの設定は「MusicCast CONTROLLER」で変更できます。部屋の選択画面で （設定）をタップして、設定を変更してください。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いてから、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

最初に、各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されているかご確認ください。

全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れる。 正常に動作しない。	電源アダプターが正しく接続されていない。	電源アダプターをコンセントにしっかり差し込んでください。
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	コンセントから電源ケーブルのプラグを抜き、約30秒後に再度差し込んでください。
スピーカーから音が出ない。	再生したい音楽ソースが正しく選ばれていない。	本体の SOURCE で再生したい音楽ソースを選びなおしてください。
	音量が最小またはミュートになっている。	音量を大きくしてください。
	電源がオフになっている。	本機の電源をオンにして再生しなおしてください。
	オートスタンバイ機能が働いた。	本体の VOLUME で音量を下げてください。
音割れ、音の歪み、異音がする。	入力した音楽ソースの音量が大きい。または本機の音量が大きい。	本体の VOLUME で音量を下げてください。
突然電源が切れる。	スリープタイマーを設定していた (☞ P.27)。	本機の電源をオンにして再生しなおしてください。
	オートスタンバイ機能が働いた (☞ P.30)。	
アラームのソースを設定しても、アラーム時刻にソースが再生されない。	音楽ソースが「なし」に設定されている。	「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって、他の音楽ソースを設定してください。
	選択したコンテンツが現在提供されていない。	ネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。別のコンテンツを選択してください。
	選択したコンテンツが無音を再生している。	時間帯により無音放送になっているコンテンツがあります。この場合は受信できていても音は出ません。別のコンテンツを選択してください。
スタンバイ時に時計が表示されない。	本機がエコスタンバイに設定されている。	スタンバイ時の動作をネットワークスタンバイに設定してください (☞ P.11)。

症状	原因	対策
前面ディスプレイが暗くなる。	前面ディスプレイの明るさの設定が「自動」になっている。	明るさの設定を「自動」以外にしてください。または、照度センサーが隠れないようにしてください。
時刻の設定内容が消えた。	電源アダプターがコンセントから抜かれた。または、停電があった。	電源アダプターをコンセントに差し込み、時刻を再設定してください（☞ P.7）。
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機をそれらの機器から離して設置してください。

■ ネットワーク

症状	原因	対策
ネットワーク機能を使用できない。	ネットワーク情報（IPアドレス）が正しく取得されていない。	ルーターのDHCP サーバー機能を有効にしてください。ルーターに関する詳しい設定方法については、ルーターの製造メーカーにお問い合わせください。
再生が停止してしまう（連続して再生できない）。	本機が再生できないファイルが存在する。	再生するフォルダーには、本機が再生できないファイル（画像ファイルや隠しファイルなどを含む）を入れないでください。
パソコンが検出されない。	パソコン側のメディアの共有設定が正しくない。	本機がパソコンのフォルダにアクセスできるように、パソコン側のメディアの共有設定を変更してください（☞ P.15）。
	セキュリティソフトなどの設定により、パソコンへのアクセスが制限されている。	パソコンにインストールされているセキュリティソフトの設定をご確認ください。
	本機とパソコンが同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
パソコンのファイルが表示（再生）されない。	本機またはメディアサーバーが非対応のファイル形式を使用している。	本機およびメディアサーバーが対応しているファイル形式を使用してください（☞ P.36）。

症状	原因	対策
インターネットラジオを再生できない。	選択したラジオ局のサービスが現在停止している。	ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
	選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。	時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できていても音は出ません。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
	ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はラジオ局により異なります。
「MusicCast CONTROLLER」で本機が検出されない。	本機とモバイル端末が同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
ファームウェアの更新に失敗した。	ネットワークの接続状態がよくない。	しばらく経ってから再度更新をお試しください。
無線LANルーター（アクセスポイント）経由でインターネットに接続できない。	本機と無線LANルーター（アクセスポイント）との距離が離れすぎている。	本機と無線LANルーター（アクセスポイント）を近づけて設置してください。
	本機と無線LANルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある。	本機または無線LANルーター（アクセスポイント）を間に障害物がない場所に設置してください。
無線ネットワークが見つからない。	電子レンジやその他の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。	無線接続で本機を使用するときは、電磁波が発生する機器を近くで使用しないようにしてください。
	無線LANルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	無線LANルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定をご確認ください。
AirPlay使用時、iPhoneから本機を認識できない。	マルチSSID対応ルーターを使用している。	ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。iPodを接続する際は、本機へのアクセスが可能なSSIDをお使いください。

Bluetooth

症状	原因	対策
本機と接続機器がペアリングできない。	本機の電源がオフになっている。	本機の電源をオンにしてから、ペアリング操作をしてください (☞ P.20)。
	すでに他の Bluetooth 機器が接続されている。	接続中の機器をいったん切断してから、ペアリングしてください。
	距離が離れすぎている。	本機から 10 m 以内の位置で接続機器をペアリングしてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線LAN 機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。
	Bluetooth アダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。	パスキーが「0000」の機器をご使用ください。
	接続機器が A2DP に対応していない。	A2DP に対応した機器とペアリングしてください。
Bluetooth 接続ができない。	本機の電源がオフになっている。	本機の電源をオンにしてください。
	すでに他の Bluetooth 機器が接続されている。	接続中の機器をいったん切断してから、接続してください。
	接続機器の Bluetooth 設定がオフになっている。	接続機器の Bluetooth 設定をオンにしてください。
	ペアリング情報が消えた。	Bluetooth 機器側で本機とのペアリング履歴を削除してから、再度本機とペアリングしてください (☞ P.20)。
	本機が接続機器の Bluetooth 機器リストに登録されていない。	再度ペアリングを行ってください (☞ P.20)。
音が出ない、または音が途切れる。	接続機器の音量が最小になっている。	接続機器の音量を上げてください。
	接続機器の出力切替が本機に設定されていない。	接続機器の出力切替を本機に設定してください。
	本機と接続機器との Bluetooth 接続が切断された。	Bluetooth 接続を再度行ってください (☞ P.21)。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線LAN 機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発する機器から離して設置してください。
	本機と接続機器の距離が離れすぎている。	接続機器を本機から 10 m 以内に置いてください。
	接続機器の Bluetooth 設定がオフになっている。	接続機器の Bluetooth 設定をオンにしてください。
	接続機器が Bluetooth 信号を本機に送っていない。	接続機器の Bluetooth が正しく設定されているか確認してください。

ラジオ

症状	原因	対策
ステレオ放送になると雑音が多く聴きづらい。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナの接続を確認し、固定位置を調整してください (P.9)。
	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力が弱い。	屋外アンテナを使用してください。詳しくは、専門店などにご相談ください。
自動選局ができない。	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力が弱い。	屋外アンテナを使用してください。詳しくは、専門店などにご相談ください。
		手動で選局してください(P.23)。
プリセット選局ができない。	メモリーに登録された設定内容が消去された。	放送局を再登録してください (P.23)。
FM専用アンテナや屋外アンテナを使用しているも、音が歪むなど受信感が悪い。	マルチパス（多重反射）などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。

対応機器/メディアとファイル形式

対応機器/メディア

パソコン

Windows Media Player 11 か Windows Media Player 12 がインストールされたパソコン。

NAS

DLNAバージョン1.5に対応したNAS。

AirPlay

Wireless Accessory ConfigurationはiOS 7以降で動作します。

AirPlayはiOS 4.3.3以降を搭載したiPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion以降を搭載したMac、iTunes 10.2.2以降を搭載したPCにおいて動作します（2016年7月現在）。

ファイル形式

本機に対応しているファイル形式は以下の通りです。

DLNA

- WAV（PCMフォーマットのみ）、MP3、WMA、MPEG-4 AAC、FLAC、ALAC、AIFFに対応しています（1～2チャンネル音声のみ再生可能）。
- WAV、FLAC、AIFFは192 kHz/24 bitまで、ALACは96 kHz/24 bitまで、その他のファイルは48 kHz/320 kbpsまでのサンプリング周波数に対応しています。
- FLAC ファイルを再生するには、パソコン（サーバー）にインストールされているサーバーソフトが、DLNAを使ったFLACファイルの共有に対応している必要があります。
- DRM（デジタル著作権管理）により保護されたファイルは再生できません。

主な仕様

チューナー

受信FM周波数範囲	76.0 MHz ~ 95.0 MHz
-----------	---------------------

Bluetooth

Bluetoothバージョン	Ver.2.1+EDR
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC、AAC
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
無線出力	Bluetooth Class 2
最大通信距離	10 m（障害物が無いこと）

ネットワーク

イーサネットインターフェース	100 Base-T/10 Base-T
接続方式	Wi-Fi接続
無線周波数帯域	2.4 GHz
無線LAN規格	IEEE802.11 b/g/n
対応セキュリティ	WEP、WPA2-PSK (AES)、Mixed Mode
PCクライアント機能	DLNA ver.1.5（DMR機能）対応
インターネットラジオ	v Tuner対応
AirPlay	AirPlay対応

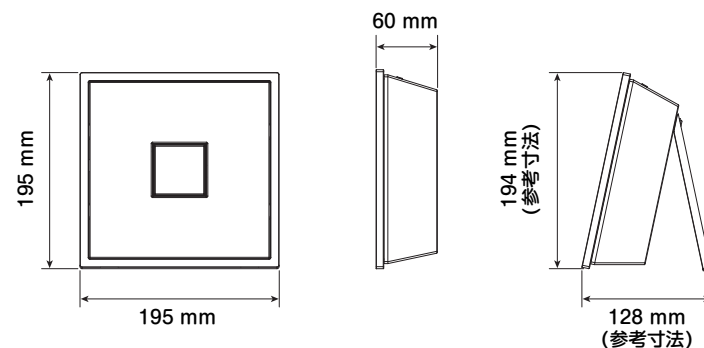
アンプ

最大出力	ウーファー 10 W (100 Hz, 10% THD) ツイーター 10 W (10 kHz, 10% THD)
------	--

総合

電源電圧/周波数	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	10 W
スタンバイ時消費電力 （ネットワークスタンバイ オフ/オン）	ネットワークスタンバイ オフ：0.2 W
	ネットワークスタンバイ オン 有線（Ethernet）：0.2 W 無線（Wi-Fi/ワイヤレスダイレクト/Bluetooth）： 1.9 W/1.9 W/1.7 W
質量	1.1 kg

外形寸法



この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードして読みいただけますようお願いいたします。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

商標



AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod touchは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。

iPad Air、iPad miniはApple Inc.の商標です。

App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。



DLNA™およびDLNA CERTIFIED™はデジタルリビングネットワークアライアンスの登録商標です。無断使用は固く禁じられています。



Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。



Bluetooth®およびロゴはBluetooth SIGの登録商標であり、ヤマハ株式会社はライセンスに基づき使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Bluetooth プロトコルスタック (Blue SDK)

©1999-2014 OpenSynergy GmbH

All rights reserved. All unpublished rights reserved.

GPL/LGPLについて

本製品は、GPL/LGPLライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。お客様はGPL/LGPLライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードを入手、改変、再配布する権利があります。GPL/LGPLライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPLライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。

<http://download.yamaha.com/sourcecodes/musiccast/>

Windows™

Windows は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer、Windows Media Audio、Windows Media Playerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

Android™ Google Play™

AndroidおよびGoogle Playは、Google Inc.の商標です。



「ラジコ」、「radiko」およびradikoロゴは株式会社radikoの登録商標です。



MusicCastはヤマハ株式会社の登録商標です。




安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源/ACアダプター



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がある。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

- 電源コードを傷つけない。
- 重いものを上に載せない。
 - ステープルで止めない。
 - 加工をしない。
 - 熱器具には近づけない。
 - 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

ACアダプターは、必ず付属のものを使用する。また、付属のACアダプターをほかの製品に使用しない。
故障、発熱、火災などの原因になります。



分解禁止

分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかる場所

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右5cm、上5cm、背面5cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。



必ず実行

心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から22 cm 以上離して使用する。
本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

使用上のご注意



必ず実行

本機やACアダプターを落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

お手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。ほこりがたまったらそのまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/ACアダプター



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。



禁止

ACアダプターは、布や布団でおおったり包んだけしない。
熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。



必ず実行

本機を完全に主電源から切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。
本体のキーでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。



必ず実行

無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。
遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。



必ず実行

機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。
突然大きな音が出たり感電したりすることがあります。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意



再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

必ず実行



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

禁止



本機を大音量で長時間使用しない。
背面が熱くなり、火傷などのけがの原因になります。

禁止



環境温度が急激に変化する場所では使用しない。
本機に結露が発生することがあります。正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

禁止



外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。
説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因となります。

必ず実行



ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置する。
色むらが起きることがあります。

必ず実行

お手入れ



お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く
感電の原因になります。

必ず実行



薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

禁止

お手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

本機のスピーカーには磁石が使われています。磁気の影響を受けるもの（ブラウン管テレビ、時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなど）を本機の上や近くに置かないようにしてください。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

Bluetooth について

- **Bluetooth**とは、無許可で使用可能な2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- **Bluetooth**対応機器が使用する2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。**Bluetooth** 対応機器は同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本書はすべての**Bluetooth**対応機器との無線接続を保証するものではありません。

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本機の無線方式について

(Wi-Fi)



[2.4]..... 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
[DS/OF].....変調方式はDS-SSおよびOFDM方式
[4]..... 想定干渉距離が40 m以内



..... 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(Bluetooth)



[2.4]..... 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
[FH]..... 変調方式は周波数ホッピング
(FH-SS 方式)
[1]..... 想定干渉距離が10 m以内



..... 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線機器を搭載しています。

この製品の銘板表示は本体の底面に印刷されています。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通) **0570-011-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通) **0570-012-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)
*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ニッセビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどに変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気をを感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

Manual Development Group
© 2016 Yamaha Corporation

2017 年 5 月 改訂 AM-B0

AV17-0012